

■ 第16回（2019年度）九州ニュービジネス大賞表彰 受賞事業の概要

別紙 1

受賞	社名	県	代表者名	事業名	対象事業（ニュービジネス事業）
ニュービジネス大賞	該当なし				
アントレプレナー大賞	(株)N Lab (エヌラボ)	長崎	代表取締役 北村 由香	AIとヒトがコラボする病理診断の改革	長崎大学発ベンチャー企業。① 長崎大学で構築した病理診断用AIを用いた病理解析受託事業。② 病理診断AIシステム構築に必須、かつその精度を左右する教師（解説）付き超高精度病理データの提供（販売）事業。③ 病院間、または医療関係者、患者へのデータ共有を可能とするデジタル化、QRコード化した病理データのクラウド活用配信サービスと病理ビッグデータプラットフォーム構築事業。
アントレプレナー大賞	(株)diffeasy (ディフィージー)	福岡	代表取締役社長 CEO 白石 憲正	大会運営 向上心 (スムーズで快適な大会運営Webクラウドサービス)	スマートフォン・パソコンでスポーツ大会運営を円滑に行うサービス。 大会運営者、参加者双方のニーズに対応。 ・運営者：Web申込み→自動集計→トーナメント自動作成→当日結果公開 ・参加者：Web申込み→申込み状況→当日結果速報 ・種 目：空手道,剣道,柔道,バドミントン,テニス,キックボクシング,相撲 ・代表導入実績:金鷲旗(柔道),玉竜旗(剣道),全日本空手道選手権
優秀賞	(株)ワーコン	福岡	代表取締役 青木 比登美	IoT（センサー・AIロボ）を活用した 遠隔医療、在宅医療支援サービス	看護師による24時間 遠隔看護サービス 自宅にいる利用者の生体情報を、看護師が、最先端IoT（センサー・AIロボ）を活用し遠隔で24時間モニタリングを行う。また、必要に応じて、医療チームに駆けつけ要請をし、在宅医療支援も行う。
奨励賞	KIT-CC(株) (キット)	熊本	代表取締役 富田 健二	インクジェットテクノロジーを用いて 新規ビジネスを創造、社会に貢献する	今まで培ったインクジェット関連技術を活かし、技術を保有する企業連携で価値を最大化 ① 食品・医療分野：可食インクを用いて食品（クッキーやマシュマコ等）、医薬品（錠剤等）へ直接印刷。② 産業印刷分野：金属（アルミ缶・アルミ板等）やフィルム等へ環境に優しい水性インクを用いて環境負荷低減。③ エレクトロニクス分野：インクジェットの技術で地域連携し、高精度、薄膜化を武器にInkJet-World-Kumamotoを推進
審査委員特別賞	(株)くまもと健康支援研究所	熊本	代表取締役 松尾 洋	循環型介護予防エコシステム 「元気が出る学校・大学」	介護保険に頼る公助から「卒業することを喜ぶ」をコンセプトに、独自カリキュラムを開発し、自治体からの委託事業である介護予防サービス「元気が出る学校（公的サービス）」と、公的サービス終了後に継続して安価に利用できる「元気が出る大学（自費サービス）」を提供し、高齢者の健康寿命延伸を支える環境を整備。
審査委員特別賞	(株)ナノプラネット研究所	大分	代表取締役 大成 由音	光マイクロバブル技術を最高度に活用 したペット洗浄・温浴及び車イス対応 介護足浴装置の商品開発・販売促進。	世界初のマイクロ・ナノバブル発生技術を自社のコア技術として保有。 超高速旋回式と呼ばれる発生装置と、それにより発生される「光マイクロバブル」と名付けた特殊な気泡を用いて、機械、自動車、半導体、農漁業、医療介護など多岐に渡る分野において、問題解決を行うソリューションを提供している。ペット分野では、皮膚のケア、介護分野では水虫や血行不良改善等に高い効果を有する。

(敬称略)